

第2回盛岡城跡公園芝生広場整備事業関係者懇話会 議事録

日時 : 令和元年 11 月 12 日 (火) 14 時～16 時

場所 : 盛岡市勤労福祉会館 401・402 会議室

出席者: 別添出欠者名簿のとおり

欠席者: 別添出欠者名簿のとおり

1. 開会

藤村課長補佐より開会が宣言された。

2. 挨拶

高濱都市整備部長より、第1回懇話会について、事業の説明不足のため会の趣旨が不明瞭になったことの謝罪と、城跡公園全体を魅力あるものにするべく、芝生広場を良くしていきたいため委員の皆様から御意見を頂戴したいと挨拶があった。

3. 議事

議事に入る前に、畑中(良)委員より、城跡公園の面積や、どのような法的規制があるのか、どのような規制緩和ができるのかといった公園に関する基本的な情報を盛岡市から行うべきだと意見があった。

(1) 事業実施の経緯及び概要について

高濱都市整備部長より、資料1～2を用いて説明を行った。

(2) 第1回懇話会の質疑の回答について

高濱都市整備部長より、資料3を用いて説明を行った。

(3) 意見交換

各委員・盛岡市の発言要旨を以下に示す。

(倉原座長)

短い時間の中で事業背景など、よくまとめて頂いたと思うが、畑中(良)委員の質問に対する補足等あれば盛岡市からお願いしたい。

(盛岡市)

盛岡城跡公園全体では 92,000 m²のうち、芝生広場は 10,640 m²、今回御提案頂いている

建築物については 1,020 m²で、建築物の占める割合は、公園全体では 1.1%、芝生広場では 9.6%となっている。法的規制については、史跡指定からは外れているものの、包蔵地となっていることから、試掘を行い、調査をしていく。

(豊岡委員)

整備範囲(資料1, 4ページ目)について、青が公園みどり課ということで良いか。

(盛岡市)

青が公園みどり課で整備する範囲である。

(佐藤委員)

史跡内外を整備するにあたり3つの整備計画があるが、それぞれに相反する部分があるのではないかと。3つの計画のうち、優先順位があれば教えて欲しい。

(盛岡市)

それぞれの整備計画が狙っている効果や性質が異なるので計画に序列は無い。ただし、マスタープランという側面を考えるなら、みどりの基本計画が上位になる。

(佐藤委員)

最大公約数的なもので計画を立てるということか。

(盛岡市)

最大公約数でも良いが、それぞれの計画に齟齬が無いように進めていく必要がある。

(畑中(美)委員)

史跡から外れているというが、今と昔では芝生広場に対する考えが違うのではないかと。今ここに新しく施設を建ててもいいのか。史跡が外れているというが、誰が外したのか。

(盛岡市)

もともと内堀の内側を史跡範囲としているもので、芝生広場を後から外したということでは無い。都市計画決定する際に史跡として残す部分、公園として残す部分と分けたものである。盛岡市としては、史跡内はしっかりと保存していき、史跡外は公園として活用していきたい。

芝生広場内の建物の建築については公園施設として認められれば問題ないということになっているため、建物を活かして広場の活用をしていきたい。

(倉原座長)

芝生広場は、史跡に準じる場所であったり、市民にとって親しまれている場所であったりする一方で、芝生広場の価値の向上や、魅力的な場所にしていきたいというものもある。

提案された内容は、現状の価値を超えてより良いものにしていくということで、採用されたことと思うが、どのような点が評価されたのか。

(金澤委員)

(事業提案の選定をした緑のまちづくり協議会副座長として説明)

3社ほど応募しようとしていたようだが、最終的に事業費を全て自費で捻出するといった(株)ミナが応募した。選定する側としては、城跡公園のような価値の高い公園でやるからには、盛岡らしいものを建てて欲しいし、どこに行ってもあるようなものを建てられては困ると思いつつながら、皆川さんから説明を受けた。

単なる芝生広場で儲けたいということであれば否決したが、盛岡という街や産業を世界に発信して、ひいては盛岡を少しでも活性化させたいという、「盛岡のために」という皆川さんの想いに深く感銘を受けた。

皆川さんであれば芝生広場を安心して任せられる、かつ目的に合致すると思われ、満場一致で(株)ミナを選定した。

(畑中(美)委員)

市の財政状況を考えれば、事業を進めたいという気持ちはよく分かるし、反対するつもりはないが、歴史文化館のことを忘れられているのではないかと思った。当初はマンションが建つなど、全体像が見えないまま噂が飛び交いとても不安な気持ちになった。

第1回の懇話会では、歴史文化館が保有する財産を守るために、湿気や害虫の対処にどれだけ苦慮しているのかを分かって頂けてないのではないかと思ったが、先日盛岡市からの説明を受けて、田んぼについては少し安心した。

(金澤委員)

選定段階では、田んぼのことや水を引くことは留保案件で検討するというものでいったん持ち帰って頂くこととした。

情報提供という面については、懇話会後に市民に提供すべきだという声もあったが、市民に対して情報提供を行う際に、役所の中で内容の協議を重ねた結果、時間がかかり不信感を与えてしまったのではないかと考えている。

(鎌田委員)

事業については説明を受けてよく分かった。懇話会というのは事業の推進を可とするのか非とする会なのか。3月の段階で事業が選定され推進するのは決まっているが、その計

画に対して公園の利便性や価値を高めるために、各分野の方々から意見を頂きブラッシュアップする場なのか。

正直、どこから賛成すればいいのか、どこから意見を言っているのかが分からない。

(盛岡市)

選定時には、事業者から覚悟をもってやりたいという話を伺っているので、しっかりと事業を進めたいというのが市の考えである。盛岡のためにやって頂けるということではあるが、盛岡市民が求めているものについても事業者側にも伝えなければならないということがあるので、御意見を頂きたいものである。

また、後世に「これがあって良かった」という施設となるように、期待や不安などの御意見を頂ければと思う。

(畑中(良)委員)

以前から盛岡城の整備計画に基づいて保存等を行ってきていると思うが、整備委員会の中では、史跡区域外の話ではあるが、芝生広場に建物を建てるという報告がなされていないという意見が出されているようだ。

都市整備部内だけの意向で進めるのではなく、関係機関との調整や連絡を図るべきではないのか。事業を進めるための議論だけではなく、関係課機関との調整状況や、現状でどういった課題があるか、などはきちんと説明を行うべきだ。

(盛岡市)

文化財に係る関係者も多くいるので、今後事業を進めるに当たって、課題は一つ一つクリアしていくべきと考えている。

文化庁からの指摘については、来年度史跡範囲(芝生広場に面する箇所)の樹木の伐採を予定していたが、芝生広場に建物が建った時の眺望と併せて考えた方がいいのではないかというもので、お城に係る整備については、樹木の伐採を強行して行うのではなく、整備内容の優先順位を整理する必要が生じたもの。

(倉原座長)

今後クリアすべき課題があるとのことだが、事業を進める前提でクリアすべき課題なのか、課題をクリアしなければ事業をやめるのかで議論が違ってくると思うが。

(盛岡市)

前者で御理解頂きたい。事業を進める中で今後新たな課題も出てくると思うので、解決しながら進めていきたい。

(福島委員)

盛岡を離れて思ったことだが、盛岡の都市としての評価は全国的に見ても高い。中津川が素晴らしいと盛岡を訪れた人から聞くと、中津川は都市河川の中では比較的川幅が狭く、護岸が低いので、街との距離が近く、かつ非常に良いスケール感である。

他都市の城址公園の計画にも携わっているが、盛岡城跡公園は他都市と比べて、登ったりくぐったり多様な楽しい空間体験ができる。そういった場所が市の中心にあるというのは盛岡にとって大事なことだと思う。

計画の是非はあるものの、全国のPFI事業を見ると、同じような提案も多い。今回の事業の話聞いたとき、自分の地元のPFI事業にこういった提案が来て良かったと思った。

近年、城址公園というのは他都市を見ても概ね人気が無い。お城は街の中心地にあるため、再生すると街に対して大きなインパクトがあるが、その歴史性や関係者の多さゆえ、計画がどの都市もなかなか進んでいない印象がある。

豊かな空間体験ができる盛岡城跡公園と、市民に愛される中津川の間にある芝生広場に新しい風を吹かせようとしている今回の計画は非常にチャンスだと思っている。

全国を見ると、都市公園の再生だったり、地域再生だったり一斉に行われているが、どこもなかなか進んでいない現状がある中で、強い意志を持って進めた者が勝ち抜けられると思うので、様々な課題を克服し、勇気をもって進めてほしいと思う。

(佐藤委員)

事業計画は素晴らしいものだと思うが、芝生広場全体の整備計画案が提示されていない。芝生広場の開発はしないのか。

(盛岡市)

現状の提案として、イベント等の開催を考慮して、園路の形状をそのままにしているが、新しい使い方の提案等の議論があれば事業者伝えてブラッシュアップしていければと思う。

(佐藤委員)

提案事業者は建物を建てる場所以外のことも考えているのか。

(盛岡市)

イベント等で使う前提で提案をして頂いているので、今後ブラッシュアップしていければと思う。

(畑中(良)委員)

園路計画を変えないということだが、事業提案で審査したのは建物の形や考え方だけで

あって、計画が後から変わるというのは矛盾しているのではないか。

(木村委員)

建物について審査したわけではなく、事業を進めて良いかどうかという観点で審査をしている。まず市を挙げて事業を進めるとなつてからの全体のすり合わせが必要なのではないか。事業を進められるかどうかが決まらないと、次に進めないのは事業者としては当たり前のことだと思う。

(畑中(良)委員)

審査の時にも対象となる建築面積が決まっていないということか。

(木村委員)

建築面積は提案資料に書いてある。

(畑中(良)委員)

芝生広場の整備事業と言っても、管理するのは占有している部分だけで、それ以外の所は従来の市の管理となるという認識でいるが、市の考えを聞きたい。

(豊岡委員)

建物を建築する場所の整備が最初にあり、他の場所はホテルの里などの周囲の状況を考慮して今後整備を行っていくという認識でいた。管理を誰がするかということや、建物が良いのか悪いのかというよりは、どのように連携していくのか、市民に愛される場所にするにはどうしたらいいのかという意見を出す方が良いのではと思っている。

(盛岡市)

芝生広場全体の価値を高めるという前提で、建物の部分もそうでない部分も一体となつて、事業者側で管理していくという提案を受けている。細かい部分については協議していきたい。

(佐藤委員)

当初の計画から芝生広場全体が入っていたのか。資料だと、建物だけのスケッチで、広場全体を入れた整備イメージなどが無いように見えるので、全体の整備計画図のようなものがあつても良いのではないか。

(福島委員)

民間の方にただ維持管理してくれと言っても、費用をどこから捻出するのかという問題

がある。収益を得る機能がないと維持管理費用を捻出できない。

(佐藤委員)

芝生広場全体が、計画案の中に含まれるのか。

(福島委員)

建物が建ったことで、芝生広場の使われ方がより良くなっていくということを考えていくということだが、最初に提案して頂いた資料だけで、全ての項目に対する考えを判断するのは難しいことだと思う。

(石川委員)

議論がもっと必要に感じる。建物のこと以外を考えても、この芝生広場は日常的な使われ方は勿論、秋まつりの山車やいしがきミュージックフェスなどのイベントでも多く利用されている。

公園として大切なこと、現在の広場の使い方、これからの使い方、整備で気を付けてほしいことなどこの懇話会でまとめたものを今年度かけて作り、その後事業者の方とすり合わせながら進めていければいいと思う。

(谷藤委員)

トイレの老朽化を改善したいという前提のようだが、山車をやっていく上で芝生広場にトイレは不可欠。ただ図面にトイレが見られないがどこにあるのか。

(木村委員)

資料の印刷が薄くて見えづらいが、図面にも書いてある。建物の中に、外からアクセスできるトイレがある。

(畑中(美)委員)

公衆トイレというのは24時間使えるのが前提だと思う。

(吉田委員)

事業者要望すれば良い。

(谷藤委員)

建物を建てる場所は、年1回ではあるが、山車の参加者の休憩場所になっている場所で、例年通りの使い方ができなくなるのではないかと不安である。

芝生広場に行く身としては、虫や農薬の関係で田んぼは必要なのかどうかという疑問が

ある。

(坂本委員)

岩手公園全体を次の世代の人たちに良い環境で伝えていかなければいけない。今の 20～30 代の人たちが将来良いなと思うようにしていかなければならない。

南青山の Call や近江八幡のラコリーナを見て、なぜ皆川さんと藤森さんが組むことになったのかが分かった。物を売っていて、物を売ってない、ライフスタイルを提案しているのだと。盛岡で新しいライフスタイルを提案して頂けるといことは、次の世代に何かを伝えられるのではないか。

この場所でやって頂けるといことは、隣の歴史文化館や盛岡城跡との相乗効果が生まれるのではないかということを感じた。

芝生広場に対しては、人によって想いは色々あるが、若い世代にどういう想いがあるのかを聞いてもらいたい。

(勝部委員)

計画を見ると、最近の市内の状況は岩手医大の移転などマイナスな影響が如実に出てきている中で、この企画は盛岡全体の起爆剤になると思っている。

これから内容を詰めていく中で、細かいところは次の段階で話すことであって、次の段階で議論すべきことで、実にならない。今年の瀬戸内国際芸術祭を見たが、四国の島々での皆川さんの事業は素晴らしいもので、地元と若い人たち、あるいは外国旅行者の交流の場となっていた。また、藤森さんの作品もいくつか見ているが、いずれも求心集客力が群を抜いていて、この方達なら間違いないと改めて思った。事業者を信じて進めることが未来を作ることになるのではないか。

(鎌田委員)

今回の事業を推進するにあたり、他の委員が懸念として抱えている部分については盛岡市が責任をもって解決すると言えはいい話。建物の運営に関しては事業を継続していくためには事業者の考え方があるため、提案内容にあれこれ要望を言うのではなく、まず事業を進めていく必要があるのではないか。

(豊岡委員)

肴町商店街では若手が中心となり、バスセンター予定地を活用して、エリア価値を下げないように様々な活動をしている。

地元のために、これから住む若い人たちのために商店街が関わっていく中で、中津川という存在があり、これまでは中津川に対して背を向けていたが、北上川で河川空間を活用してイベントが行われているように、中津川でも河川空間を利用できれば良いと思う。中

津川に飛び石を置いて、芝生広場から盛岡八幡宮までの人の流れを作れば良い。

芝生広場が活用されれば、私たちもそれを活用させて頂いて、未来のために何ができるのかを考えることができるため、今回の事業はチャンスであり大事にしていきたい。

(畑中(良)委員)

図面での寸法だけでは大きさをイメージしづらいため、現地で、フィールドワークなどで、建物の実際の寸法を示した方がいいのではないかと。

(勝部委員)

空調機器の室外機等の関係で建物の裏側が大事だと思うので、そこはきちんとしてほしい。

(畑中(良)委員)

木伏緑地のよう、賛否ある建物の配置にならないように、説明は必要だと思う。

(下玉利委員)

対策は出来るだろうし、心配だけの意見ではなく、前向きな話をした方がいい。写真に建物をはめ込むなどすれば、イメージがつくのではないかと。

(伊藤委員)

植栽管理など維持管理の面で細かい話がまだ分からないため、コスト感や事業性について教えて頂ければありがたい。景観に関わるものだし、20年の事業期間を鑑みれば維持管理は大事になってくる。

(倉原座長)

未知の部分があるため、不安になることもある一方で、事業を推進していく必要性について皆さん御理解されたように思うし、その上で事業を進めていくための意見やアイデアを出して頂いた。

次世代へのために、より良い場とするためには進めるべき事業だということは懇話会の総論である。大事なものは、今後より良いものにしていくために、今後どういう形で議論の場を設けていくかを検討していくこと。

懇話会としては、皆川さんには事業をぜひ行ってほしく、一緒に考えていきたいという気持ちであり、それを皆川さんに伝えたい。

(委員ら拍手で賛成の意を表明)

(盛岡市)

御意見と後押し頂いたことを皆川さんにお伝えしたい。

4. 閉会

藤村課長補佐より閉会が宣言された。

以上